Α
S
Ρ
萚
íŁ
上に
係
がる
追
加加
譲
許出
美
施
12
関
す
る
\Box
米
取
極

府とアメリカ合衆国政府との間の交換公文附属している第三十八表注釈7に掲げる追加譲許の実施に関する日本国政◎関税及び貿易に関する一般協定のジュネーヴ議定書(千九百六十七年)に

(略称) ASP廃止に係る追加譲許実施に関する日米取極

昭和四十五年十二月二十八日昭和四十五年十二月二十八日 昭和四十六年 二 月 六 日 告示 効力発生 ジュネーヴで (外務省告示第三十六号)

米国側書簡..... Ħ 次二八七 ページ

日本側書簡………………

簡 米 国 側書

る期限

本国の中山大使と本使との間の交換公文に言及する光栄を有し

の延長に関する千九百六十九年十二月二十四日付けの日

の譲許表に関する注釈りの規定に定め

いる第三十八表の日本国

(関税及び貿易に関する一 政府との間の交換公文 る追加譲許の実施に関する日本国政府とアメリカ合衆国 九百六十七年)に附属している第三十八表 般協 定のジュ 注 · ヴ 議 釈ヮに掲げ 定

ネ Ī

書

釆 国 側 書 簡

(訳文 る 一般協定のジュネー 書簡をもつて啓上い が議 たします。 定書 (千九百六十七年) 本使は、 関税及び貿易に関す に附属 して

ます。 を有します。 で延長することをアメリカ合衆国政府に代わつて提案する光栄 この期限をさらに一年間、 前記の書簡に言及されている延長された期限に関 すなわち千九百七十二年一月一日ま し、本使は、

する光栄を有します。 長するための両政府間の合意を構成するものとすることを提案 b のであるときは、この書 本使は、さらに、 前記の提案が貴国政府にとつて受諾しりる 簡及び閣下の返簡が通告の期限を延

つて敬意を表します。 以上を申し 進めるに際し、 ととに重ねて閣下に向

千九百七十年十二月二十八日

ASP廃止に係る追加譲許実施に関する日米取極

(United States Note)

December 28,

Dear Mr. Ambassador:

cerning the extension of the time limit given Ambassador Nakayama of Japan and myself conof letters dated 24 December 1969 between and Trade. Protocol to the General Agreement on Tariffs XXXVIII - Japan annexed to the Geneva (1967) in paragraph 7 of the notes to Schedule I have the honor to refer to the exchange

January 1972. of America, to extend again the time limit behalf of the Government of the United States I have further the honor to propose, on refered to in the above mentioned letters, for a further year, that is to say until l With reference to the extended time limit

ernments to extend the time limit accordingly. constitute an agreement between our two Govsuggest that this letter and your reply should Government, I have further the honor to If the above proposal is acceptable to your

opportunity to extend the renewed my highest consideration. I avail myself, Excellency, of assurances

か

Sincerely yours,

在ジュネーヴ国際機関アメリカ合衆国代表部

大使 アイダー・ライムスタッド

(Signed) Idar Rimestad

Ambassador

H.E. Mr. Hideo Kitahara

Ambassador

Œ

グ国際機関日本政府代表

大使

北

原

秀雄

F

Permanent Representative of Japan

to the International Organizations ın Geneva

(Japanese Note)

December 28, 1970

Excellency,

I have the honour to refer to your letter dated 28 December 1970 reading as follows:-

"(United States Note)"

between our two Governments to extend accordthis reply should constitute an agreement Government and also that your letter and proposal set out above is acceptable to my behalf of the Government of Japan that the ingly the time limit specified in the said I have further the honour to confirm, on

訳文) 書簡をもつて啓上いたします。本使は、千九百七十年十二月

日

本側書簡

一十八日付けの閣下の次の書簡に言及する光栄を有します。

米国 側書簡

本使は、さらに、前記の提案が本国政府にとつて受諾しうる

ととを日本国政府に代わつて確認する光栄を有します。

る期限を延長するための両政府間の合意を構成するものとする

ものであること並びに閣下の書簡及びこの書簡が注釈りに定め

つて敬意を表します。 本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向か opportunity to extend the renewed assurances I avail myself, Excellency, of this

of my highest consideration.

(Signed) Hideo Kitahara

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary Permanent Delegate

of Japan

千九百七十年十二月二十八日

在ジュネーヴ国際機関日本政府代表

特命全権大使 北原秀雄

在ジュネーヴ国際機関アメリカ合衆国代表

大使 アイダー・ライムスタッド閣下

International Organizations the United Nations and other United States to the Office of Permanent Representative of the Ambassador, H.E. Mr. Idar Rimestad,

in Geneva

実施に関する通告の受領期限を一九七〇年の取極(昭和四十四年多数国間条約集・条約集第一八九一年多数国間条約集・条約集第一七六二号参照)のわが国の譲許表に関する注釈了に定める追加譲許の 号参照)に引き続き、さらに一年間延長することを定めたものである。 この取極は、ケネディ・ラウンド交渉の結果作成されたGATTのジュネーヴ議定書(昭和四十三

参考